

町長行政報告 主な質疑

問 秋桜ハーフマラソンは、過去最高のエントリー数となった。これを冬につなげる方向を考えるべきだか、どのような施策とするのか見解を問う。

答 スキーリフト券が当たる福引を行うなど、湯沢町が一年を通じた観光の町であることを印象付けられる施策に心掛けたい。

問 湯沢町特別観光大使の加山雄三氏との関係は今後どうなるのか。

答 加山氏本人は観光大使を続けたいとしている。神立高原スキー場にできるライブハウスにも訪れていただくよう、声を掛けたい。

問 交通安全について、町道同士の交差点で標識が整備されていないところがある。町で注意喚起する看板を設置することについて見解を問う。

答 標識が不備なところは、交通安全協会や警察と連携し、大事な部分は予算を付ける必要があると思うので検討したい。

問 フリースタイルワールドカップ苗場大会が行われるが、今回の行政報告にはなかった。進行状況はどうかを問う。

答 実行委員会ができ、予算組みの説明がされたところで、行政報告をできるような状況ではない。今後も落ち度の無いよう実行委員会にお願いしたい。

問 住宅リフォーム支援事業は一定の経済効果があり、景気浮揚に役割を果たした。恒久的にできないとしても、来年度に打ち切りとなるのか。

答 建築工業組合から継続の要望を受けた。今年と同じようにできるかどうかわからないが、良いことはやっていきたいと考えている。

問 スノーリゾートサービスとの交渉について、ここに報告が無いが、何も報告することが無いということか。

答 現在の件は、いろいろ議会の方々と全員協議会などで話し合っているところだ。

問 東京有楽町で行なわれた誘客イベントに対して、多額の経費を掛けることを疑問視する声がある。経費はいくら掛ったか。イベントの主体はどこか。

答 湯沢町観光協会が主体となっており、業務委託先の業者が企画した。経費は1800万円だった。費用対効果はすぐには分からないが、多くの人たちに湯沢町の状況を知っていただきたく行ったものだ。ご理解をお願いしたい。

問 中国誘客促進活動では商談会を行ったとあるが、どの程度の商談が成立したのか。また、中国側の業者の感触を得たとの情報はあるか。

答 詳しい数はまだ把握していないが、ツアーが1社成立したとの話は聞いている。また雪に対して非常に関心が高いという話も聞いた。



スノーリゾートサービス株式会社 (SRS)
日本ケープル株式会社
湯沢高原を経営している。

7日/湯沢町・南魚沼市議会議員協議会正副会長会議

8～10日/産建委員会先進地視察
(福島県下郷・山形県蔵王)

14日/湯沢中学校生徒海外派遣事業報告会
(湯沢中学校)

16・17日/全国町村議会議長大会
(東京)

18日/第8回議会運営委員会

21日/第6回臨時会

21日/湯沢町・南魚沼市議会議員評議会

24日/第9回議会運営委員会

25日/湯沢町・南魚沼市議会議員評議会要望活動
(東京・新潟・高崎)

25日/地下水対策委員会

28日/第7回臨時会

28日/第14回議員全員協議会

12月

5日/冬期安全祈願祭
(ロープウェイステーション)

6日/「ありがとう湯沢・感謝の集い」
(東京)

9日/第10回議会運営委員会

9日/第18回議会広報常任委員会

13～20日/第8回定例会
(会期8日間)

27日/第19回議会広報委員会